

助け合いの精神 ~ 絵本が教える優しさ ~

代表者 鳥川 倫代

企画概要 ボランティアの一環として、子供たちのために「人と人との助け合い」をテーマとした絵本を製作する。凶悪な犯罪や戦争など、ぎすぎすした世の中で忘れられつつある「人を思いやる心の大切さ」をこの本を読むことで、子供たちに訴えかけると同時に、子供たちが心豊かな人間に育つことを狙いとする。

結果報告 1月までに構成が完了し、1月半ばに最終原稿を印刷会社に提出しました。そして、2月半ばに完成し、あらかじめ調べておいた京都市内の幼稚園・児童館のリストに基づいて郵送の準備を始めました。2月中に郵送の準備が完了し、3月1日に京都市内の幼稚園・児童館80カ所に郵送しました。この絵本に対する子供達の反応を知るため、アンケートを同封して郵送しました。

なお、同絵本の点字版を作成する予定でしたが、絵本が完成するのが予定より大幅に遅れてしまったため、作成することができませんでした。

感想 「おおきなあれ！」という絵本を作ってみて、自分たちの手で絵本をつくるという事が、予想以上に大変だという事を実感しました。しかし、完成した絵本を見たときは今まで自分たちがやってきたことが形になり、大きな達成感を得る事が出来ました。

この絵本を作成することで、自分達がたくさんの人に支えられて生活しているということを改めて感じる事ができたように思います。他言語（英語・中国語・ハンゲル）への訳に関しては、外国語学部の先生に自分たちで英訳したものを添削していただき、中国語訳・ハンゲル訳については留学生の方に協力をしていただきました。また、葵寮のスタッフの方にも様々なアドバイスをいただくなど、この活動はたくさんの方の助けがあったからこそ、ここまでやってこれたと思います。

このように絵本を作るという活動を通して、普段の学校生活では学べないことをたくさん経験させてもらいました。このサギタリウスチャレンジで学んだ事を忘れず、これからの学校生活を過ごしていきたいと思います。